

EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action

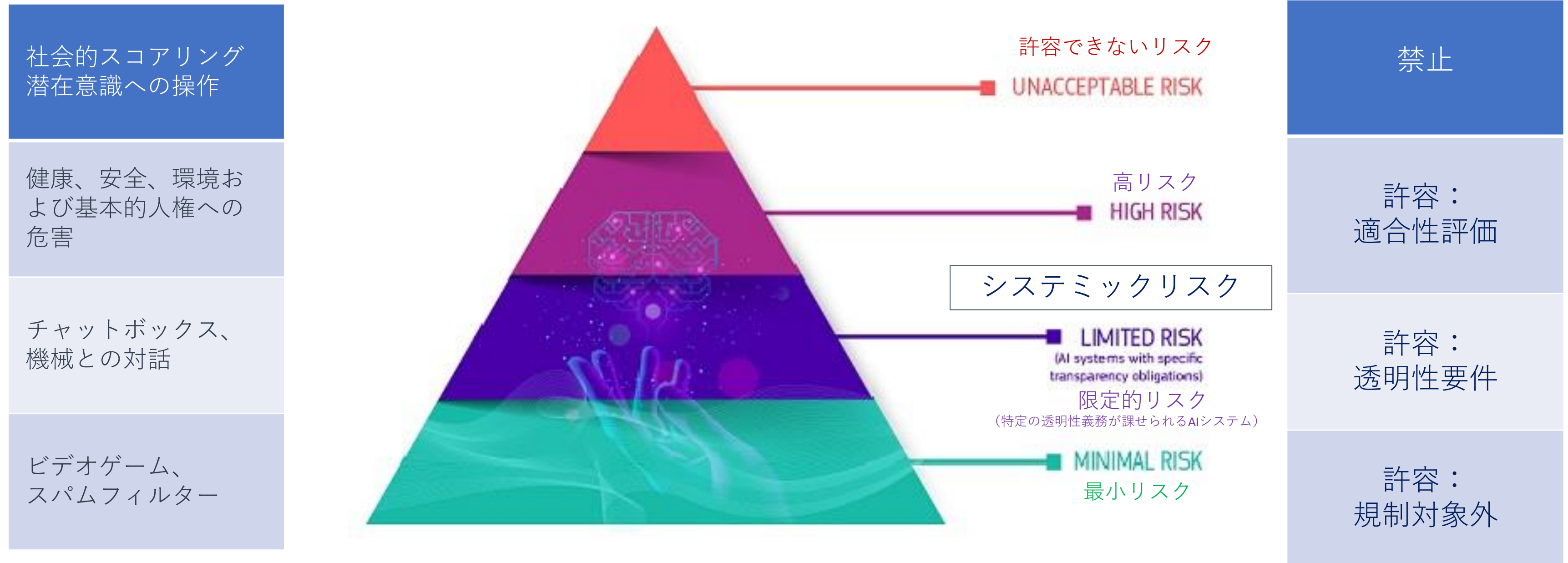
EUIPOにおける人間中心のAI活用 とEU意匠の改正



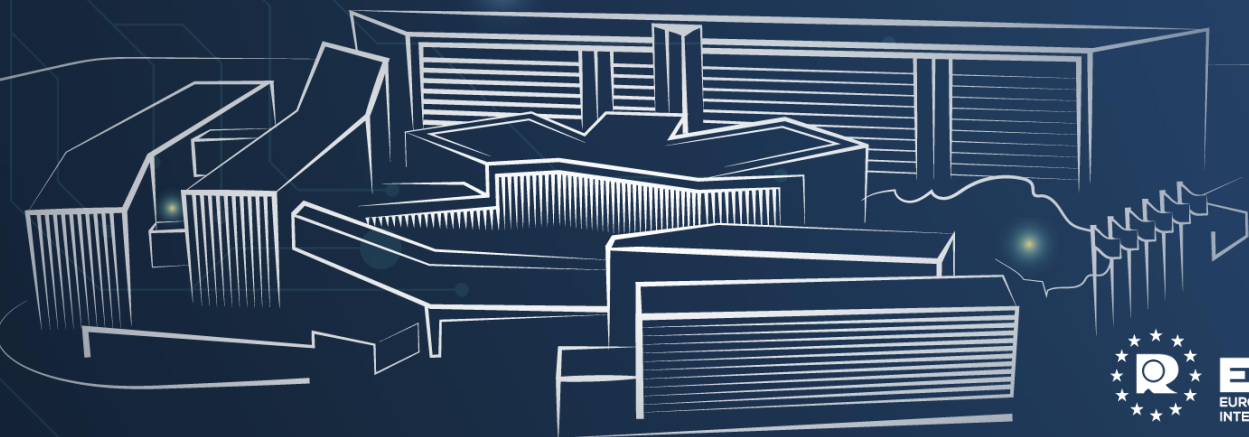
Funded by
the European Union



リスク = 発生可能性 + 被害の深刻度



EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

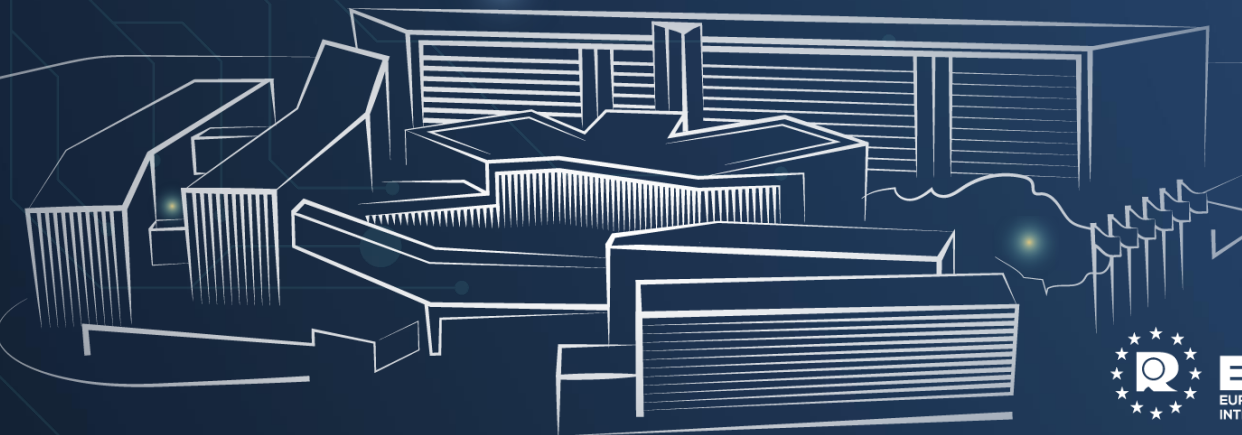


EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

戦略的な推進力とし
てのAI

EUのAI法との整合性の確
保

経営上層部による運営委
員会の設置



EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

戦略的な推進力としてのAI

EUのAI法との整合性の確保

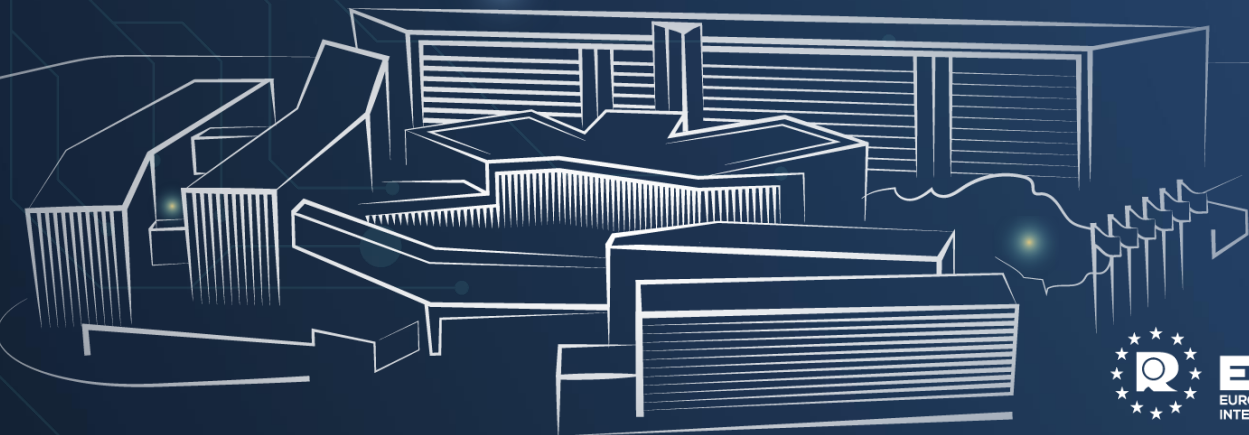
経営上層部による運営委員会の設置

体系的な方法
によるAI導入

3段階のアプローチ：

- レベル1: 学習と試行
- レベル2: AIによる支援
- レベル3: AIの業務への統合

AI免許



EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

戦略的な推進力としてのAI

EUのAI法との整合性の確保

経営上層部による運営委員会の設置

体系的な方法によるAI導入

3段階のアプローチ：

- レベル1: 学習と試行
- レベル2: AIによる支援
- レベル3: AIの業務への統合

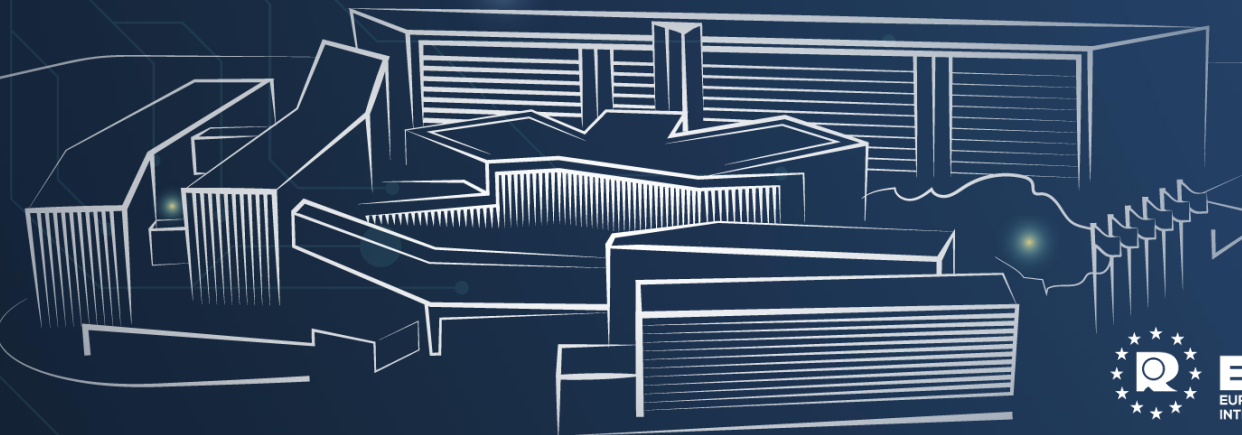
AI免許

実践的なAI活用

AIに対してビジネス重視の
アプローチを採用

再利用、購入、構築

チェンジマネジメント



EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

戦略的な推進力としてのAI

EUのAI法との整合性の確保

経営上層部による運営委員会の設置

体系的な方法によるAI導入

3段階のアプローチ：

- レベル1: 学習と試行
- レベル2: AIによる支援
- レベル3: AIの業務への統合

AI免許

実践的なAI活用

AIに対してビジネス重視の
アプローチを採用

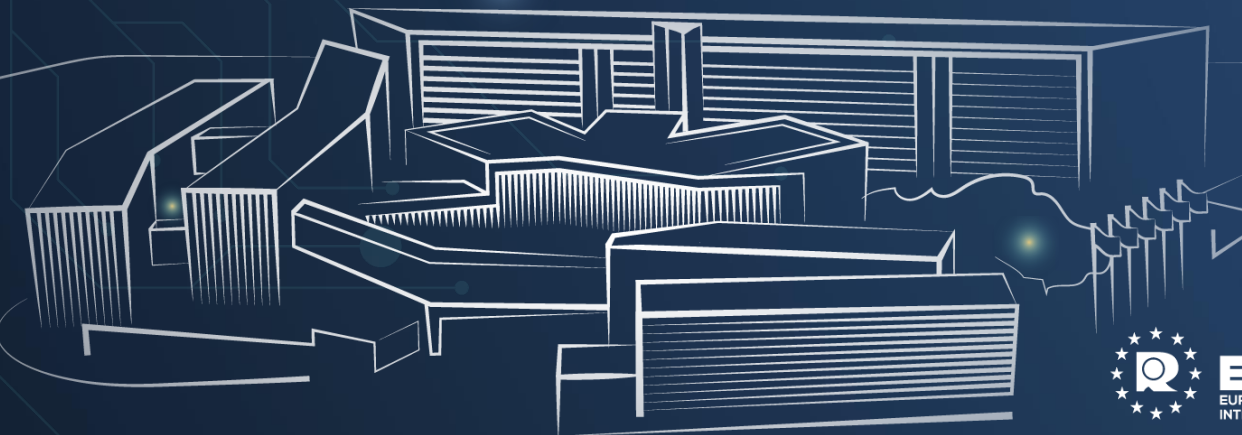
再利用、購入、構築

チェンジマネジメント

AIに関する協力と 知識の共有

知識の共有、専門的知見
の交換、重複研究の回避

共有しやすさ



EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

戦略的な推進力としてのAI

EUのAI法との整合性の確保

経営上層部による運営委員会の設置

体系的な方法によるAI導入

3段階のアプローチ：

- レベル1: 学習と試行
- レベル2: AIによる支援
- レベル3: AIの業務への統合

AI免許

実践的なAI活用

AIに対してビジネス重視の
アプローチを採用

再利用、購入、構築

チェンジマネジメント

AIに関する協力と 知識の共有

知識の共有、専門的知見
の交換、重複研究の回避

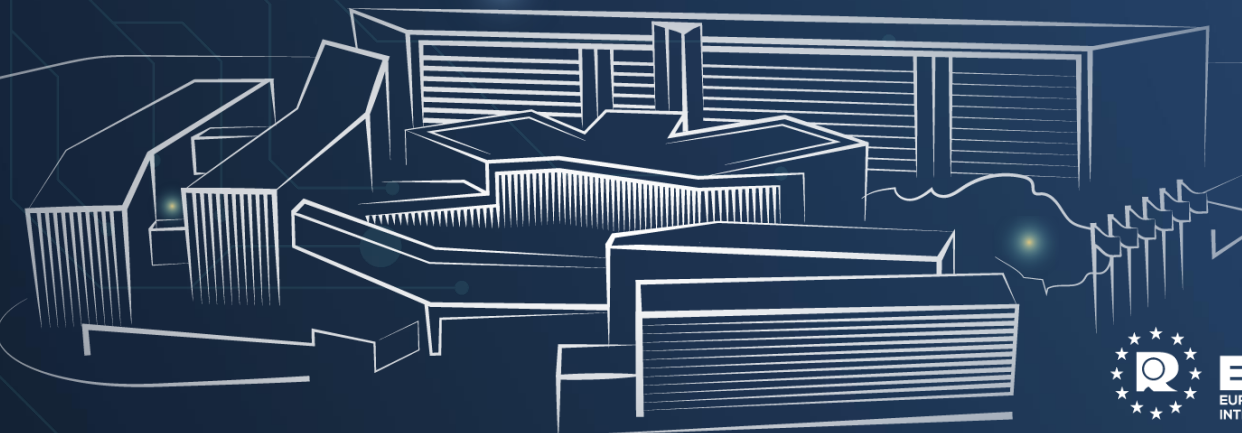
共有しやすさ

人間中心のアプローチ によるAI導入

初期段階からユーザを関
与させニーズに合致した
AIソリューションを確保

最終的な意志決定は引き
続き審査官に委ねる

説明可能性、透明性、説
明責任の確保



EUIPOの 責任あるAI活用アプローチ

戦略的な推進力としてのAI

EUのAI法との整合性の確保

経営上層部による運営委員会の設置

体系的な方法によるAI導入

3段階のアプローチ：

- レベル1: 学習と試行
- レベル2: AIによる支援
- レベル3: AIの業務への統合

AI免許

実践的なAI活用

AIに対してビジネス重視のアプローチを採用

再利用、購入、構築

チェンジマネジメント

AIに関する協力と知識の共有

知識の共有、専門的知見の交換、重複研究の回避

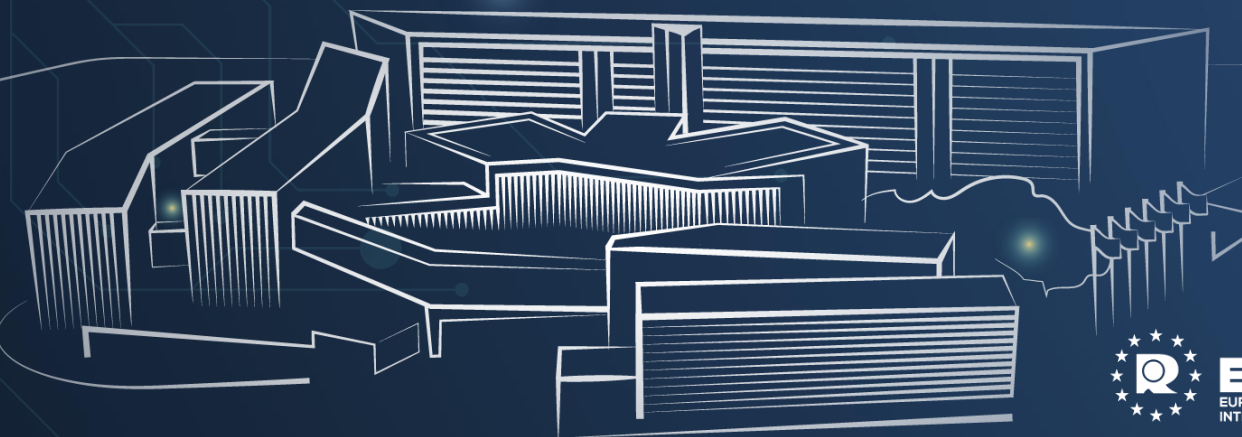
共有しやすさ

人間中心のアプローチによるAI導入

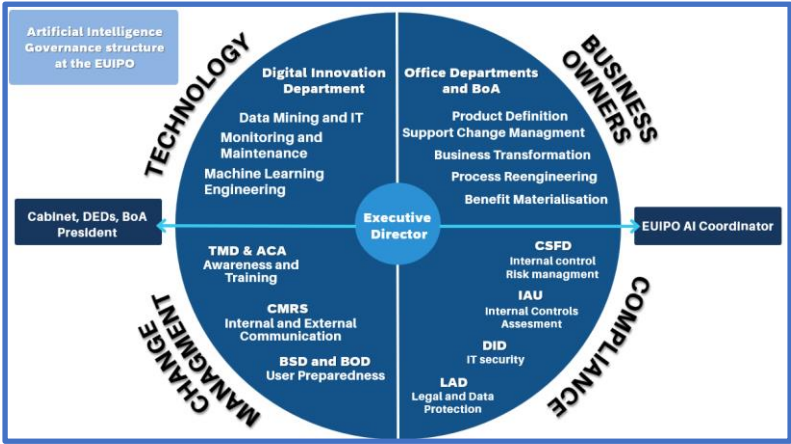
初期段階からユーザを関与させニーズに合致したAIソリューションを確保

最終的な意志決定は引き続き審査官に委ねる

説明可能性、透明性、説明責任の確保



EUIPOにおけるAIガバナンス



※本ページは原本がイメージで書換え不可能につき主要な文字部分のみ翻訳しました。

EUIPOにおける人工知能（AI）ガバナンス構造

テクノロジー

デジタルイノベーション部門

- ・データマイニングおよび IT
- ・モニタリングと保守
- ・機械学習エンジニアリング

事業者

EUIPO各部門および審判部

- ・製品定義支援
- ・チェンジマネジメントのサポート
- ・ビジネス改革
- ・プロセス再設計
- ・ベネフィット実現

内局、部門長、審判部長

チェンジマネジメント

TMD & ACA

- ・意識向上と研修

CMRS

- ・内部／外部コミュニケーション

BSD & BOD

- ・ユーザーの準備

事務局長

コンプライアンス

CSFD

- ・内部統制
- ・リスクマネジメント

IAU

- ・内部統制評価

DID

- ・ITセキュリティ

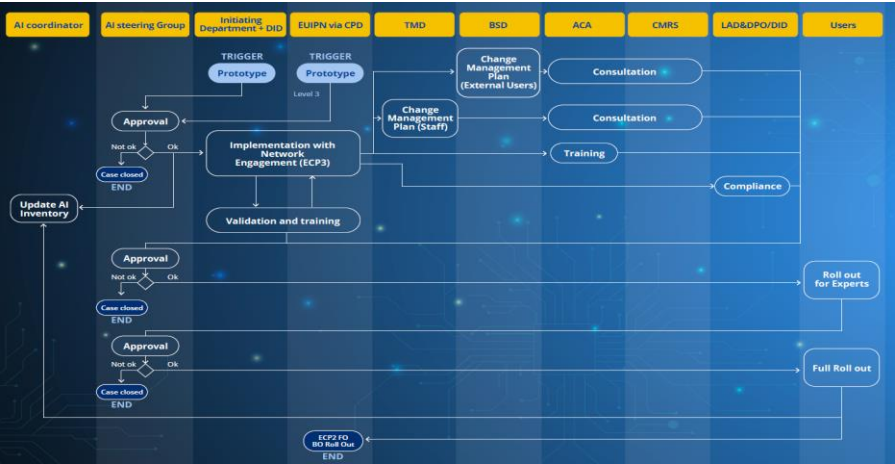
LAD

- ・法務とデータ保護

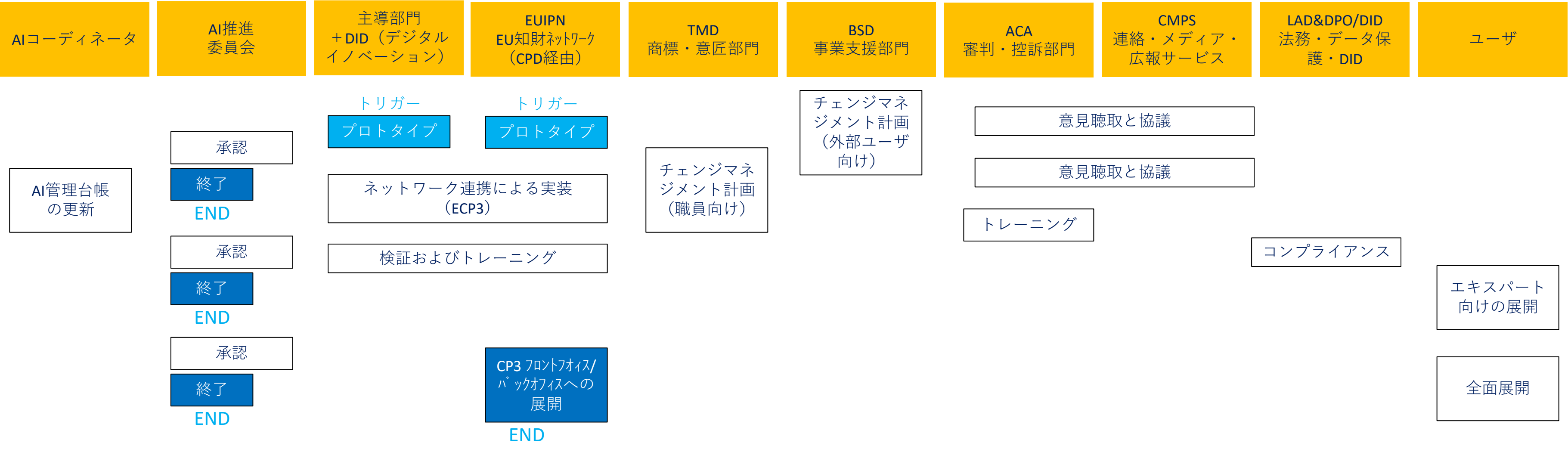
EUIPO AIコーディネーター

EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action

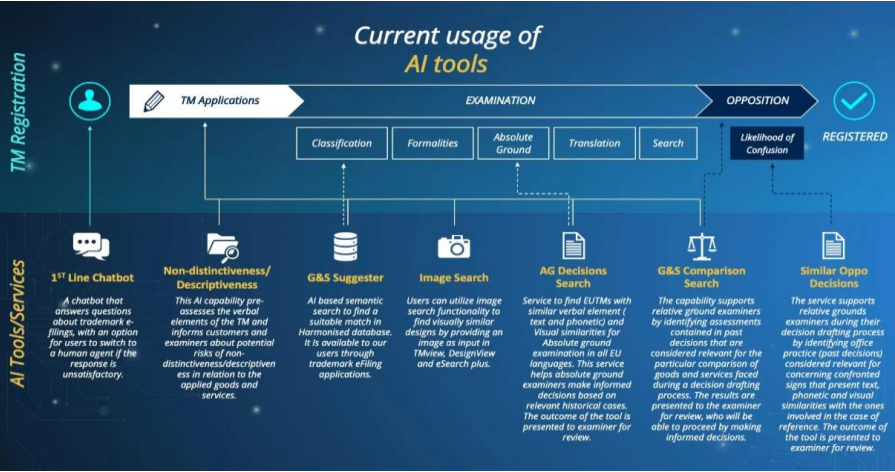


※本ページは原本がイメージで書換え不可能につき主要な文字部分のみ翻訳しました。



EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action



※本ページは原本がイメージで書換え不可能につき主要な文字部分のみ翻訳しました。

AIツール／サービス

一次対応チャットボット

商標の電子出願に関する質問に回答するチャットボット。回答に満足できない場合は人間の担当者へ切り替えられる。

識別力欠如／記述的表示

AIが商標の文字要素を事前に評価し、指定された商品・サービスとの関係で識別力の欠如や記述的表示の潜在的なリスクについてユーザおよび審査官に知らせる。

商品・役務提案

調和データベースから適切な商品・役務を見つけるためのAIによるセマンティック検索機能。ユーザは商標電子出願アプリで利用できる。

画像検索

ユーザは、TMview、DesignView、eSearch plusに画像を読み込ませることで、視覚的に類似したデザインを発見することができる、画像検索機能を利用可能。

絶対的拒絶理由（AG)審決検索

EU の全言語において、文字要素（テキストおよび音声）や視覚的類似性を基に、絶対的拒絶理由の審査に関連する類似の EU 商標を検索する。過去の関連審決に基づき、審査官がより適切な判断を行えるよう支援する。結果は審査官に提示され、確認の上で判断が行われる。

商品・役務比較検索

相対的拒絶理由の審査官を支援するため、過去の審決の中から、現在の審査で直面している商品・役務の比較に関連する判断を特定する。結果は審査官に提示され、審査官はそれを参考に、より根拠のある判断を行うことができる。

類似異議審決検索

相対的拒絶理由の審査官が審決案を作成する際、対比される標章（文字・音声・外観の類似性を含む）に関して、関連性が高いと考えられる過去の審決を特定する。結果は審査官に提示され、審査官はそれを確認した上で判断を行う。

商標登録

商標出願 ⇒ 審査 ⇒ 異議申立
分類 ／ 方式審査 ／ 絶対的拒絶理由 ／ 移行期間 ／ 検索

混同のおそれ

登録

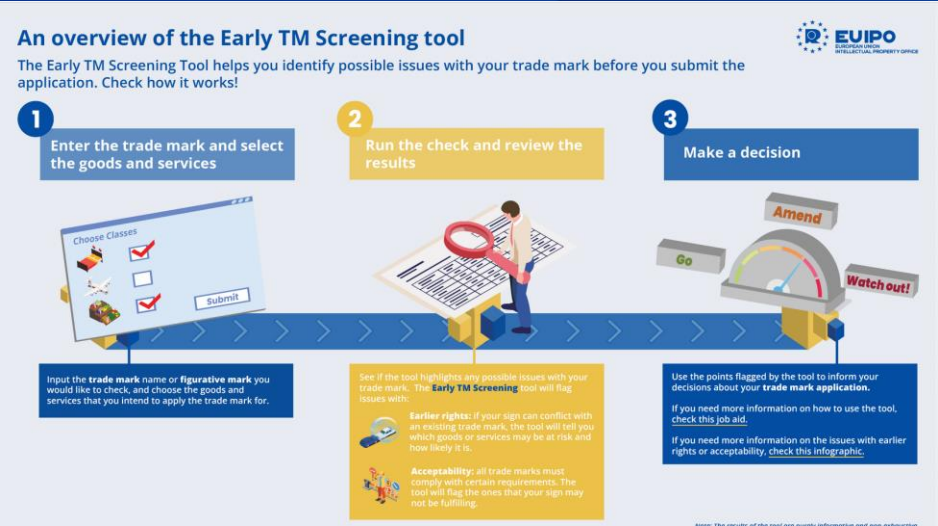
商標事前チェック（事前評価）

EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action



EU Design legislative reform



※本ページは原本がイメージで書換え不可能につき主要な文字部分のみ翻訳しました。

商標事前チェックツールの概要

商標事前チェック（Early TM Screening） ツールは、あなたの商標の潜在的な問題点を出願前に特定するのに役立ちます。どのように機能するか確認してみましょう。

①商標を入力し、
商品・役務を選択

チェックしたい**商標名**または**図形商標**を入力し、商標を出願する予定の商品・役務を選択してください。

②チェックを実行し、
結果を確認

ツールがあなたの商標に関してどのような潜在的問題を指摘するか確認してください。**商標事前チェックツール**は、次のような問題を警告します。

先行権利：あなたの標章が既存の商標に抵触する可能性がある場合、どの商品・役務にリスクが存在するか、そのその可能性がどの程度かを示します。

適格性：商標は一定の要件を満たす必要があります。あなたの標章が満たしていない可能性のある要件を警告します。

③判断を下す

ツールが指摘したポイントを参考に、**商標出願**に関する判断を行ってください。

ツールの使い方について詳しい情報が必要な場合は、この[ジョブエイド](#)を確認してください。

先行権利や適格性に関する問題について詳しく知りたい場合は、この[インフォグラフィック](#)を確認してください。

EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action



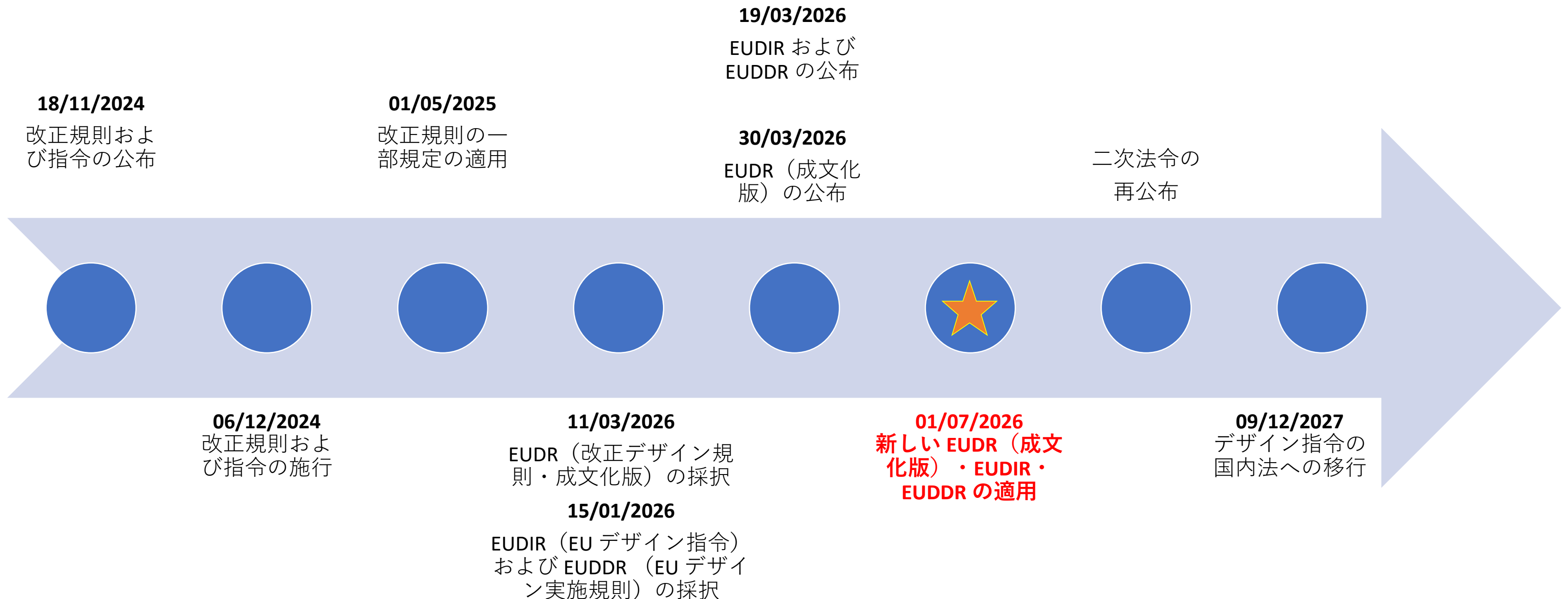
EU Design legislative reform



EU意匠の改正



新しいEU意匠法の全体像



PILLARS OF THE REFORM



- **現代化**
EU意匠制度の現代化と明確化
- **利用しやすさ**
手続の簡素化；より低額で分かりやすい手数料；料金体系の複雑さの解消
- **一貫性**
商標法との整合性の確保
- **調和**
各国レベルとEUレベルでの制度調和：修理用部品制度

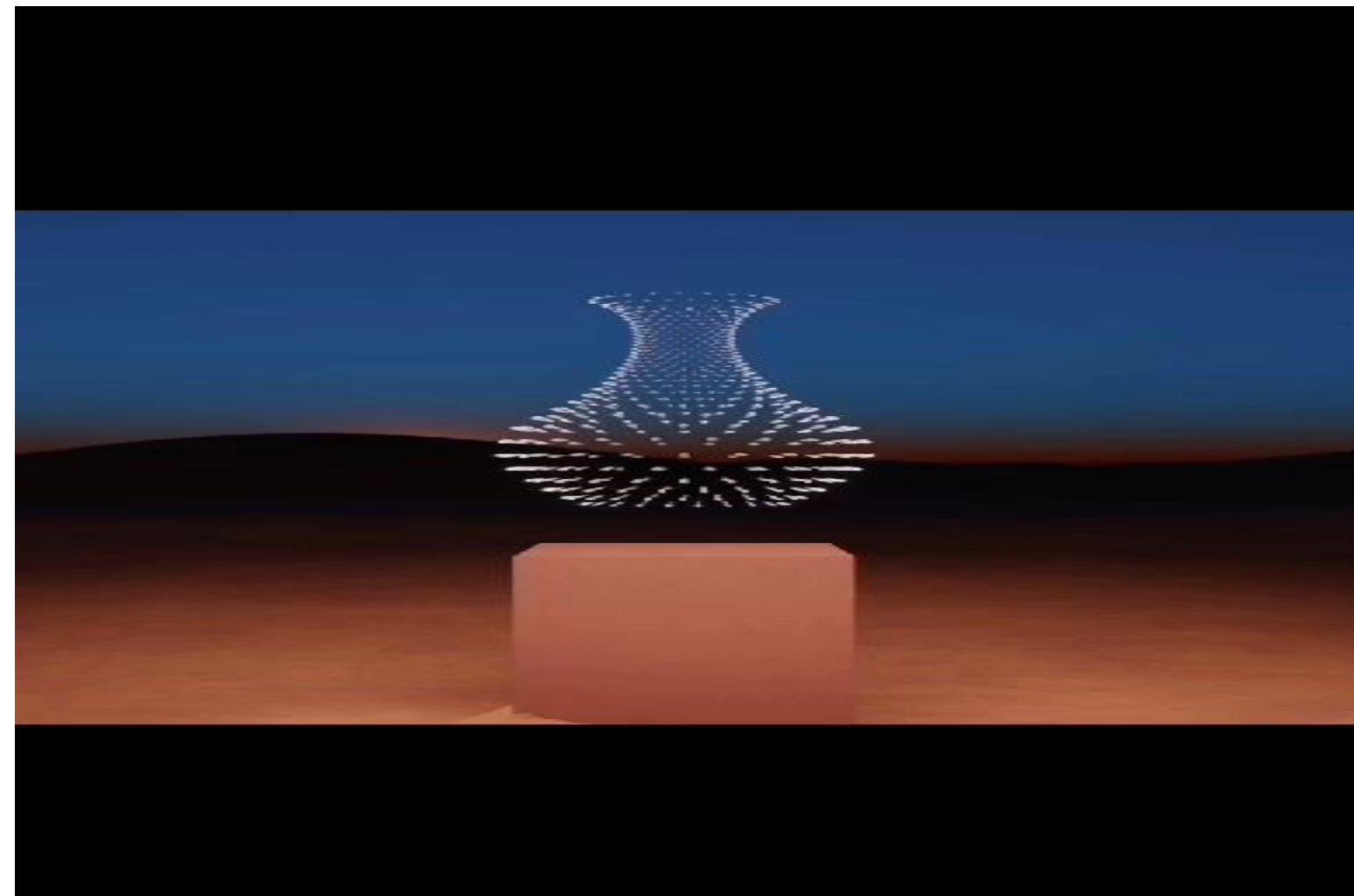
定義の現代化





意匠の定義

- **アニメーション、画面遷移および動作**が意匠保護の対象となることを明確化するため、意匠の定義を**拡大**

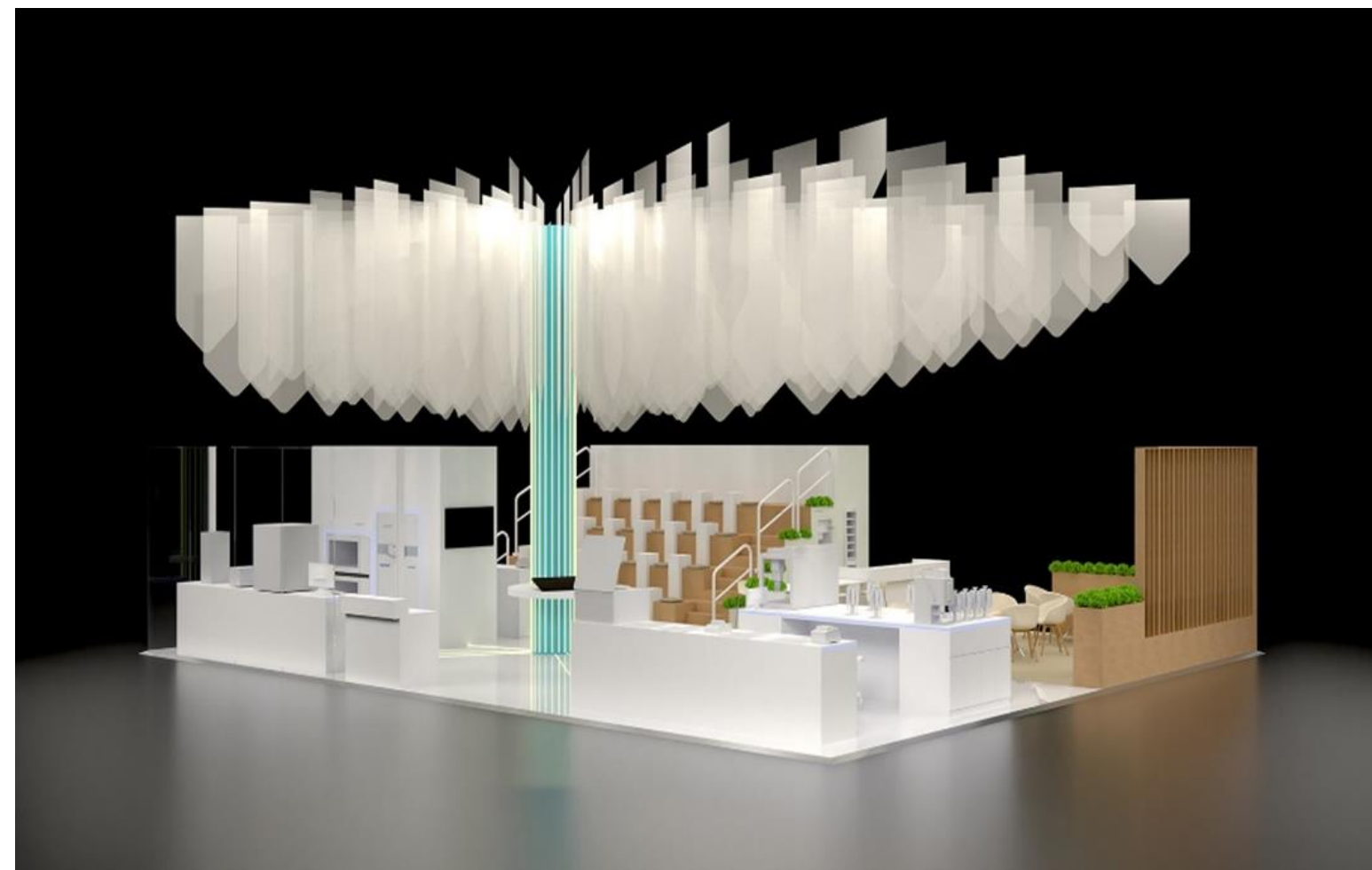


『Vogue Singapore』で紹介された、Hunn WaiおよびFrancesca Lanzavecchiaによる「Living Vase」



製品の定義

- 製品の定義を、**非物理的な意匠の保護**を可能とするよう見直すとともに、特定の製品例（**GUI、内装または外装環境を構成することを意図した物品、物品のセット**）を明示的に含めるよう拡大



EUD 015006467-0001, Class:
32.02 – Get-up

保護の対象

- その表現形式を問わず、登録**出願**において**視覚的に表された外観の特徴**によって定義される。（EUDR第19条）
- 意匠の表示は、**保護を求める意匠のすべての特徴を**整合的に****示すものでなければならない。（EUDIR第2条第2項）



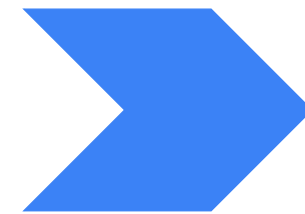
EUD 002646448- 002,
Class: 12.05 - エレベータ





改正前

静的な表現のみのロジック



改正後

マルチメディア表現



静的な表現



3 D



映像

より柔軟・より複雑

表現が動的なものになっている



複数の表現形式の組み合わせは**不可**

(1)

動的・アニメーション表現は1つのみ可能

(2)

一貫性が必要

(3)

静的な表現が優先？



ファストトラック審査



- ✓ 静的な表現のみ **NEW**
- ✓ WIPO-DASの認証情報に基づく優先権主張 **WARNING**
- ✓ DesignClassを用いて製品を指定
- ✓ EUIPOに登録された代理人
- ✓ ファストトラック対応の支払方法で手数料を即時納付
- ✓ 明瞭な表現



迅速な処理に適する



- ✗ 3D、動画による表現
- ✗ 曖昧な製品表示
- ✗ 製品表示の修正を拒絶
- ✗ その他の複雑化要因

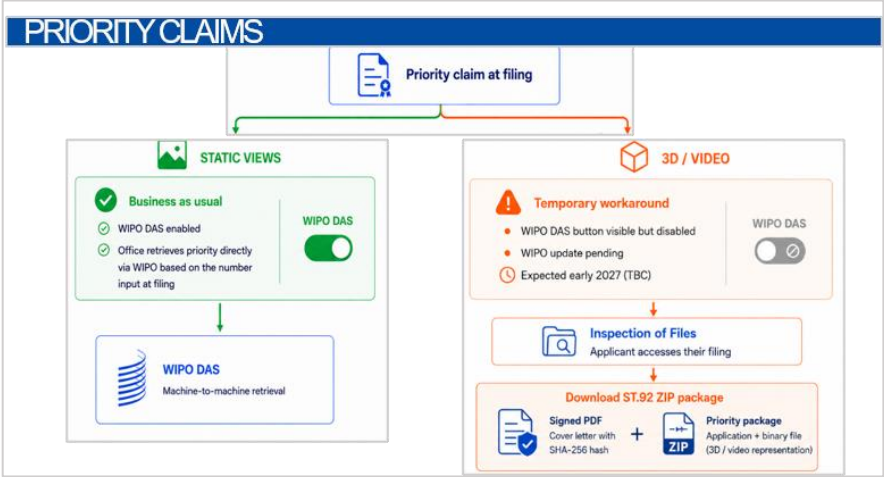


詳細な審査が必要

出願の仕方が審査手続の迅速性を決定

EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action



※本ページは原本がイメージで書換え不可能につき主要な文字部分のみ翻訳しました。

出願時に優先権を主張

静的な表現

通常業務

- WIPO DASが有効
- EUIPOは出願時に入力された番号に基づき、WIPOから優先権情報を直接取得

WIPO DAS

- システム間で自動取得

3D／動画

一次的な暫定対応

- WIPO DAS ボタンは表示されるが無効化されている
- WIPOのアップデートは保留状態
- 2027年初頭に実施の見込み（確認中）

書類の閲覧

- 出願人が自身の出願書類にアクセス

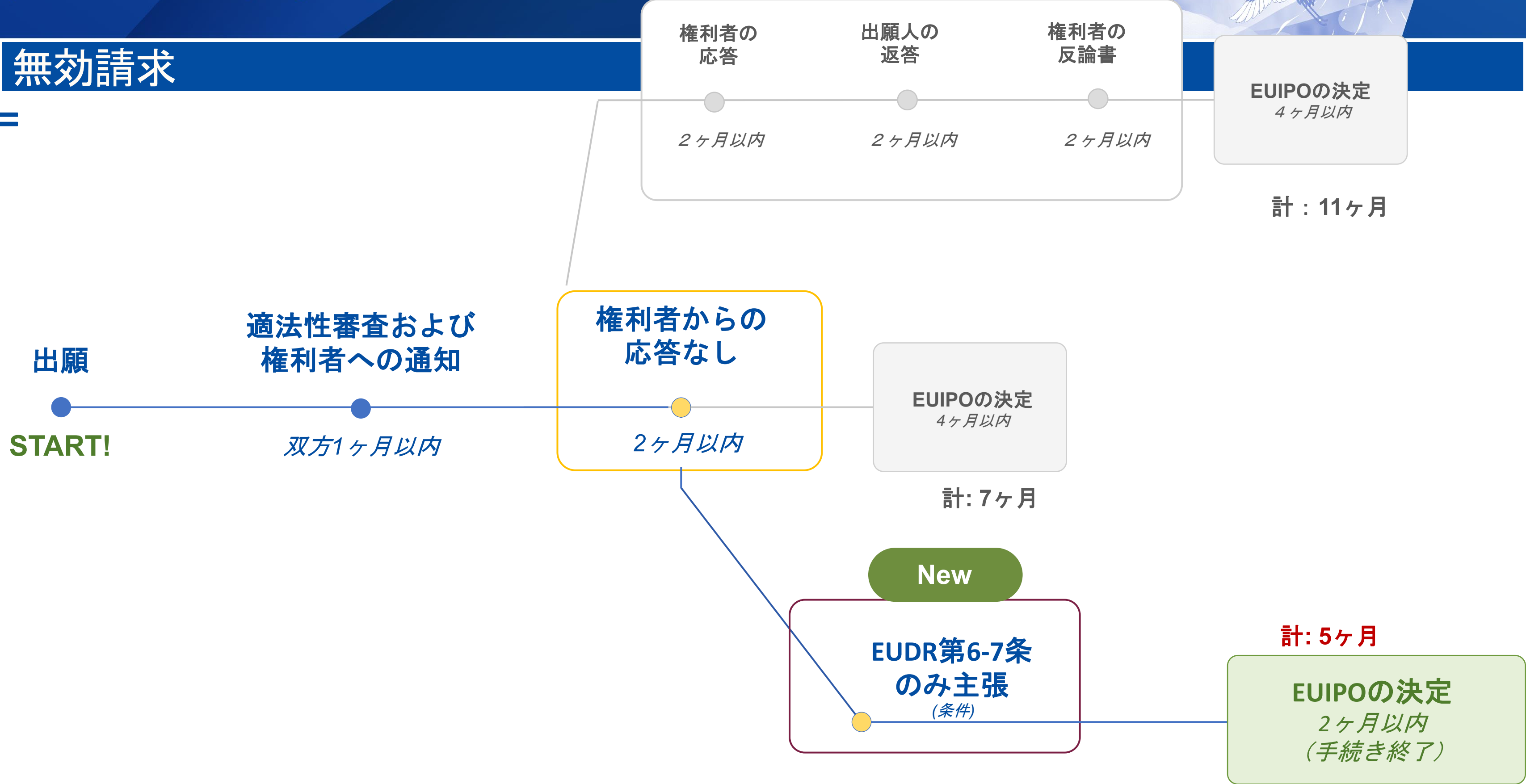
ST.92 規格のZIPファイルをダウンロード

- 署名付きPDF
SHA-256 ハッシュを記載したカバーレター
+
- 優先権パッケージ
出願書類 + バイナリファイル（3D／動画表現）



無効請求

=



EU-Japan IPA

EU-Japan Intellectual Property Action

THANK YOU



Funded by
the European Union



アンケートにご協力をお願いします。

